

## 保健所長経験者ヒアリングについて（案）

## 1 目的

検証項目 3 (1) B型肝炎の病態等に関する医学的知見及びそれに対する関係機関等の認識、(2) B型肝炎の感染経路等に関する医学的知見及びそれに対する関係機関等の認識、(3) 集団予防接種等によるB型肝炎ウイルス感染リスクに対する関係機関等の認識、検証項目 4 (1) 関係学会、医療関係者による把握及び対応について、アンケート調査結果を補完する情報を把握するため、保健所長経験者を対象とし、当時の認識及び背景等についての情報を把握する。

## 2 方法

○半構造化面接法による聞き取り調査。

○ご希望があれば研究班員に同行いただくことも想定。

## 3 調査項目（案）

## 1. B型肝炎の病態等に関する認識

※アンケート結果を確認しつつ、補足があれば追加的に情報収集する。

- ✓ 重症化に関する認識の変遷（劇症化すること、慢性化すること、その上肝がん・肝硬変に進行することについての認識を、それぞれいつ頃から持っていたか。またそのきっかけは何か。）
- ✓ キャリア化に関する認識の変遷（無症候性キャリアという概念がいつ頃認識されたか。またそのきっかけは何か。）
- ✓ 感染力の強さに関する認識の変遷（少量のウイルスでも感染することがいつ頃から認識されたか。またそのきっかけは何か。）
- ✓ B型肝炎ウイルスについての医学的な知見を得る機会はどのようなものがあったか。（業務上の機会、個人的な論文等の入手等）

## 2. B型肝炎の感染リスクの認識

※アンケート結果を確認しつつ、補足があれば追加的に情報収集する。

- ✓ 感染経路に関する認識の変遷（主な感染経路としてどういうものがあったか。それがどのように変わったか。またそのきっかけは何か。感染力の強さに関する認識との関係はどうだったか。）
- ✓ 注射針・注射筒による感染リスクの認識の変遷（注射針、注射筒による感染リスクの認識はいつ頃からあったか。それはどのように変わったか。またそのきっかけは何か。）
- ✓ 集団予防接種（注射針・筒の連続使用）による感染リスクの認識の変遷（集団予

防接種の際の感染リスクの認識はいつ頃からあったか。それはどのように変わったか。またそのきっかけは何か。）

### 3. 針・筒の交換・消毒の指導実態

※アンケート結果を確認しつつ、補足があれば追加的に情報収集する。

- ✓ 針に関する指導の実態（指導内容、指導方法、指導するようになったきっかけ、しなかった理由）
- ✓ 筒に関する指導の実態（指導内容、指導方法、指導するようになったきっかけ、しなかった理由）
- ✓ 予防接種の実施に関する保健所の関わりの変遷（市町村、都道府県、国との連携を含む）

### 4. 集団予防接種等によるB型肝炎感染可能性が疑われる具体的な事例

- ✓ 事例に関する回答内容の確認
- ✓ 都道府県または保健所の対応（市町村、国、大学等との連携を含む）

以上